

# 大川水系河川整備計画（原案） についての住民説明会

と き：平成24年3月8日（木）19時～20時30分  
10日（土）19時～20時30分  
ところ：岬町役場 2階第1会議室



南海橋下流（深日）



尾和橋上流（深日）



孝子橋下流（孝子）



逢掃ダム（孝子）

本説明資料は、大阪府河川室ホームページでも見るができます。  
（アドレス [http://www.pref.osaka.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)）

# 本日の説明会のポイントと流れ

(第1部)

① 治水を河川から流域全体へ  
(大阪府の新たな治水対策)

② 大川の現状について  
(大川水系河川整備計画(原案))

③ これからの大川での取組みについて  
(大川水系河川整備計画(原案))

(質疑・応答)

(休憩)

(第2部)

④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組みについて  
(洪水リスク開示)

(質疑・応答)



# ①治水を河川から流域全体へ

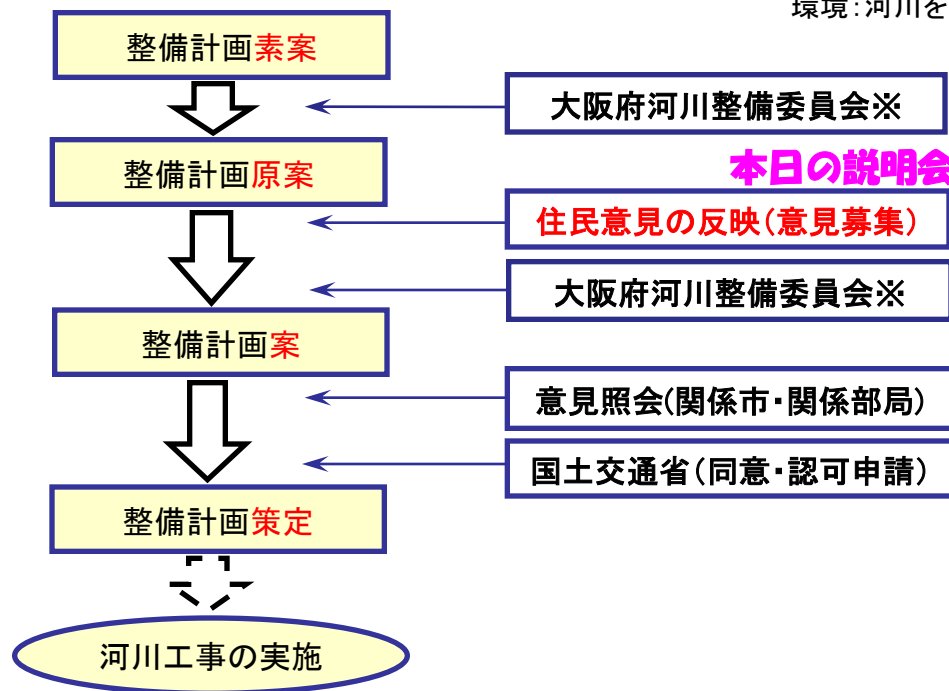
## 河川整備計画とは

河川整備計画とは、河川整備基本方針に基づき、今後概ね20～30年間で計画的に行う河川の整備や管理における具体的な目標や内容を示すもの。

河川整備基本方針とは、将来の川のあるべき姿や河川整備の長期的な基本となる方針を治水・利水・環境について定めるもの。

## 河川整備計画の策定フロー

※河川法における治水・利水・環境とは、  
治水: 河川のはん濫を防ぐこと  
利水: 河川水を農業・工業・上水などに利用すること  
環境: 河川を中心とした水辺空間や多様な生物の生息・生育空間



河川整備計画は、河川法に基づいて、学識経験者や地域住民の意見を聴きながら策定していきます。



※河川整備委員会とは学識経験者等による外部委員会

# ①治水を河川から流域全体へ

## 新たな治水対策

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- (1) 現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「<sup>に</sup>凌ぐ」施策を強化するとともに、「防<sup>ふ</sup>ぐ」施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

## 将来目標(長期計画)

府管理の全河川について、時間雨量 80ミリの降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※時間雨量80ミリの降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

## 当面の治水目標

【今後20～30年の当面の治水目標】

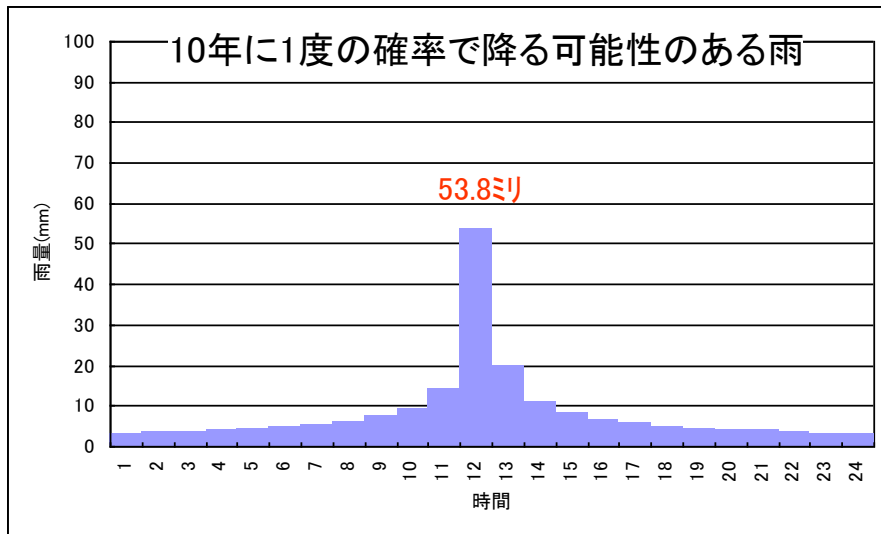
時間雨量50ミリで床下浸水を発生させない。

かつ、少なくとも時間雨量65ミリで床上浸水を発生させない。

※時間雨量50ミリの降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨  
時間雨量65ミリの降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

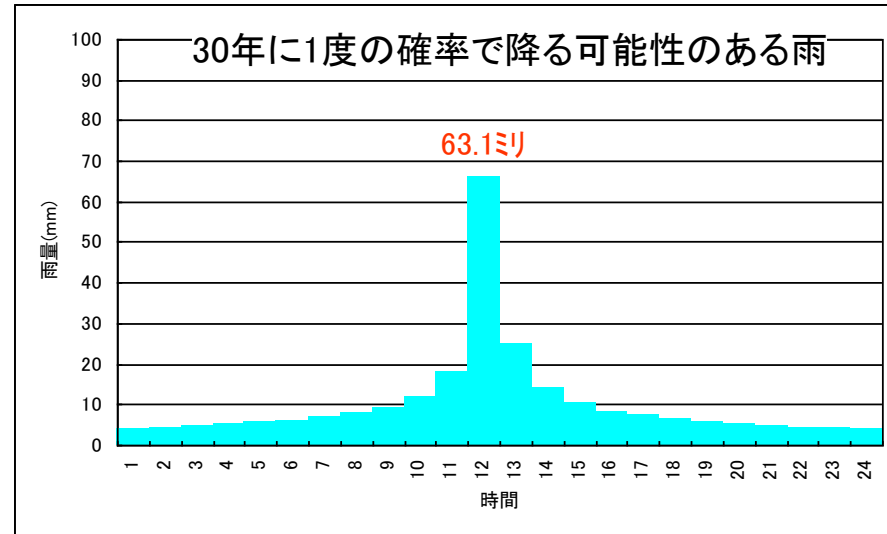


# ①治水を河川から流域全体へ



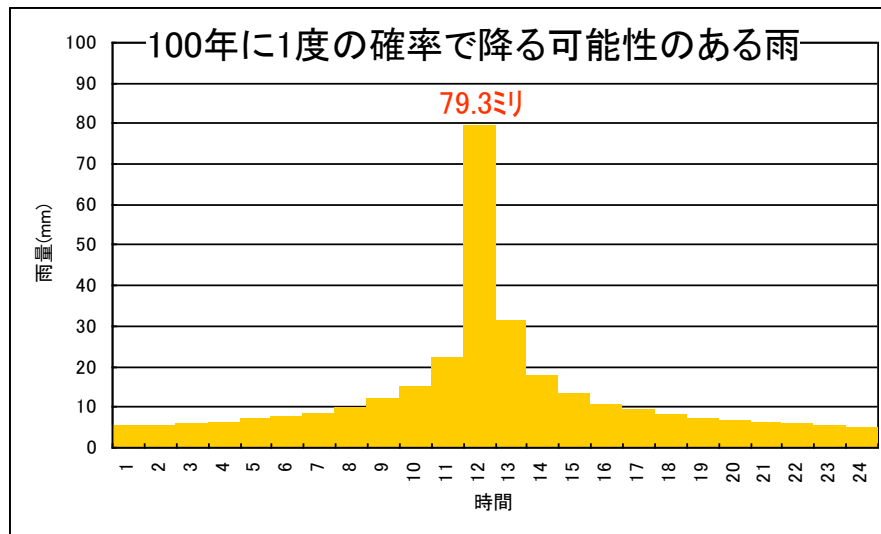
1/10年確率降雨

大川では1時間あたり最大で53.8ミリ、24時間あたり197.5ミリ



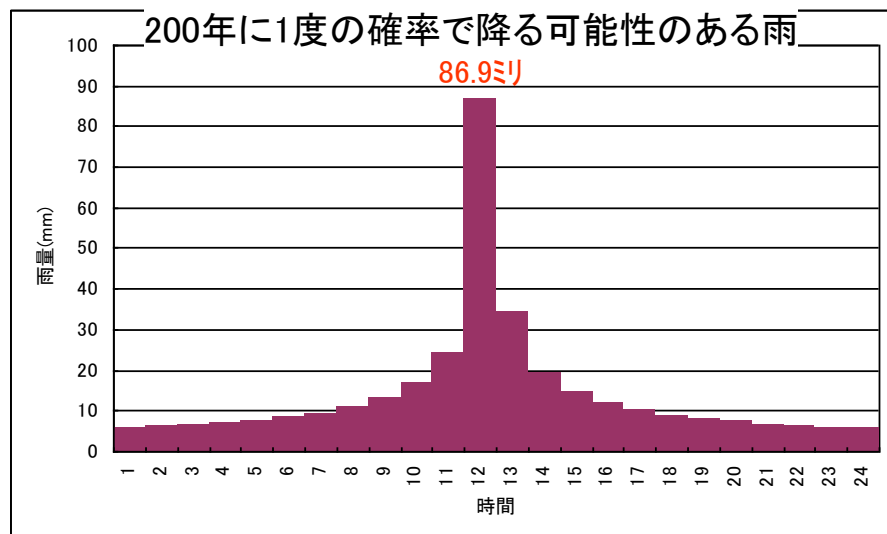
1/30年確率降雨

大川では1時間あたり最大で63.1ミリ、24時間あたり251.3ミリ



1/100年確率降雨

大川では1時間あたり最大で79.3ミリ、24時間あたり309.0ミリ



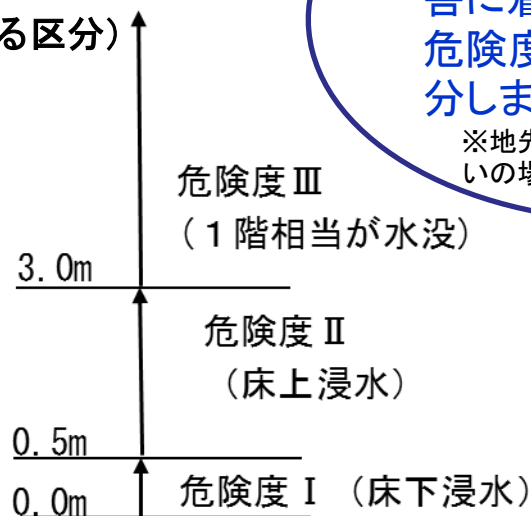
1/200年確率降雨

大川では1時間あたり最大で86.9ミリ、24時間あたり342.0ミリ

# ①治水を河川から流域全体へ

## 地先の洪水はん濫・浸水による被害の区分

### ◆ 想定浸水区分 (水に浸かる深さによる区分)

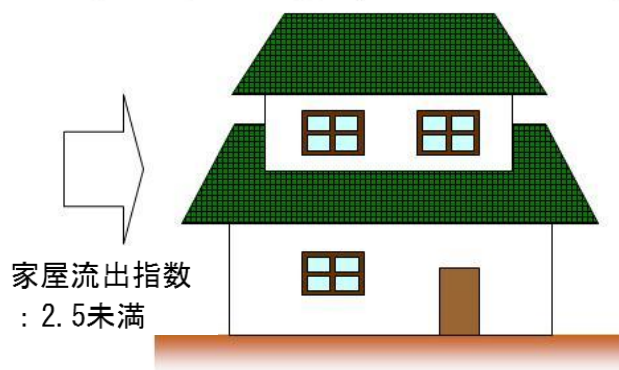


現状の地先の河川  
はん濫・浸水による被害  
に着目し、3段階の  
危険度(Ⅰ～Ⅲ)に区  
分します。

※地先とは、みなさんがお住まいの場所を指します。



### ◆ 家屋流出指数による区分 (洪水の流れの強さによる区分)



※家屋流出指数とは、はん濫水の流速と水深によって決まる値で、はん濫水の流れが引き起こす力のことです。

危険度Ⅲ(木造家屋が流出する危険性あり)

# ①治水を河川から流域全体へ

## 総合的・効果的な治水手法の組合せ

### 流出抑制

雨が降っても河川へ出る水量を減らす。  
(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など)

### 治水施設の保全・整備

河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避するなど、  
河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。  
(河川改修・堆積土砂除去など)

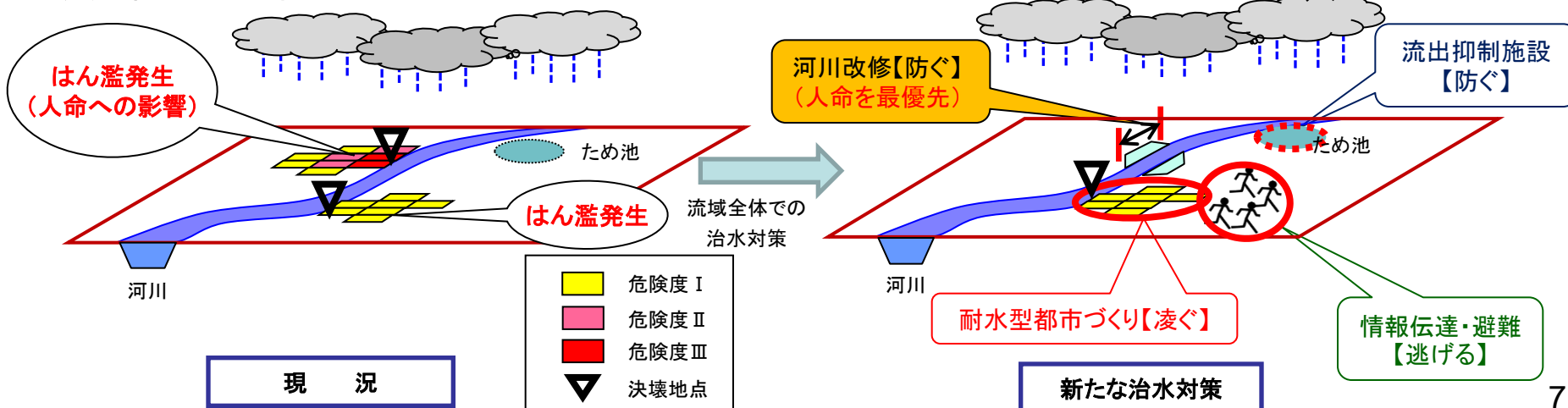
### 耐水型都市づくり

河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。  
(家屋の耐水化・高床化などの促進)

### 情報伝達・避難

河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。  
(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、避難体制づくりの促進など)

#### <流域全体での治水対策イメージ>





## ②大川の現状について

### ●流域面積

流域面積 (km <sup>2</sup> )	岬町面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)
13.7	49.0	27.9

### ●河川の長さ

河川名	二級河川 (km)	普通河川 (km)	合計 (km)
大川	4.9	2.8	7.7

### ●気候

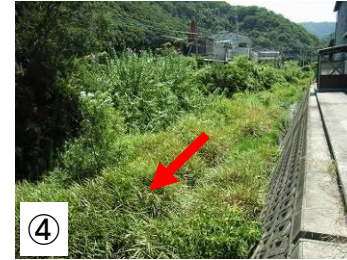
平均気温	年間降水量
16℃	1,260mm





## ②大川の現状について

大川の河口部では防潮堤が整備されていますが、上流部では自然河岸が残り、河畔林や露岩帯もみられます。



④ 下流部



⑦ 中流部(河畔林)



⑤ 中流部



⑧ 中流部(ブロック積)



① 尾和橋上流(高潮区間)



② 千歳橋下流付近(高潮区間)



③ 南海橋付近



⑥ 中流部(露岩帯)



⑨ 上流部(石積)



## ②大川の現状について



河口～孝子橋までの区間には、写真に示す様な植物や魚類、鳥類が生息しています。

### 河口～下流部の主な動植物

植物:ミゾソバ、ツルヨシ、ススキなど  
 魚類:ボラ、クサフグ、カワムツなど

### 中流～上流の主な動植物

植生:ツルヨシ、クズ、タチヤナギなど  
 魚類:カワムツ、カワヨシノボリなど  
 鳥類:カワセミなど



ミゾソバ群落



ツルヨシ群落



ススキ群落



タチヤナギ群落



ボラ



クサフグ



カワムツ



カワヨシノボリ



護岸に定着するクズ群落



ツルヨシ群落とメダケ群落



## ②大川の現状について

### 水利用

大川では農業用水の取水が行われています。また、流域の上流には、逢帰ダムがあり、水道や農業用水に使われています。

### 水質

大川の昭南橋付近の水質のBODは $2\text{mg/l}$ 以下で、大川には生息していませんが、イワナ・アマゴ・カジカ等が生息できるようなきれいな水が流れています。



ひこ六井堰(宮下橋上流)



逢帰ダム

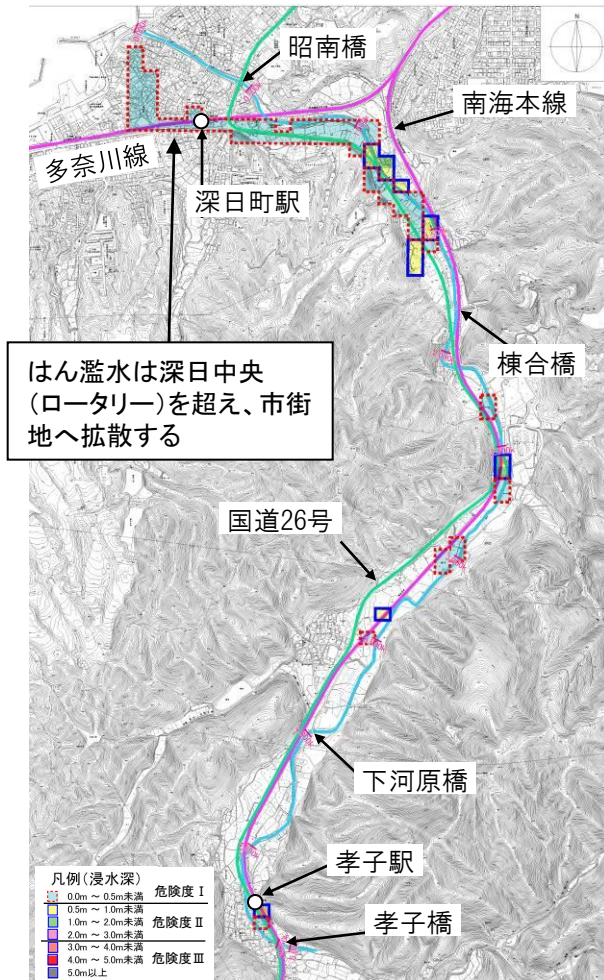


大川上流部(孝子橋下流)

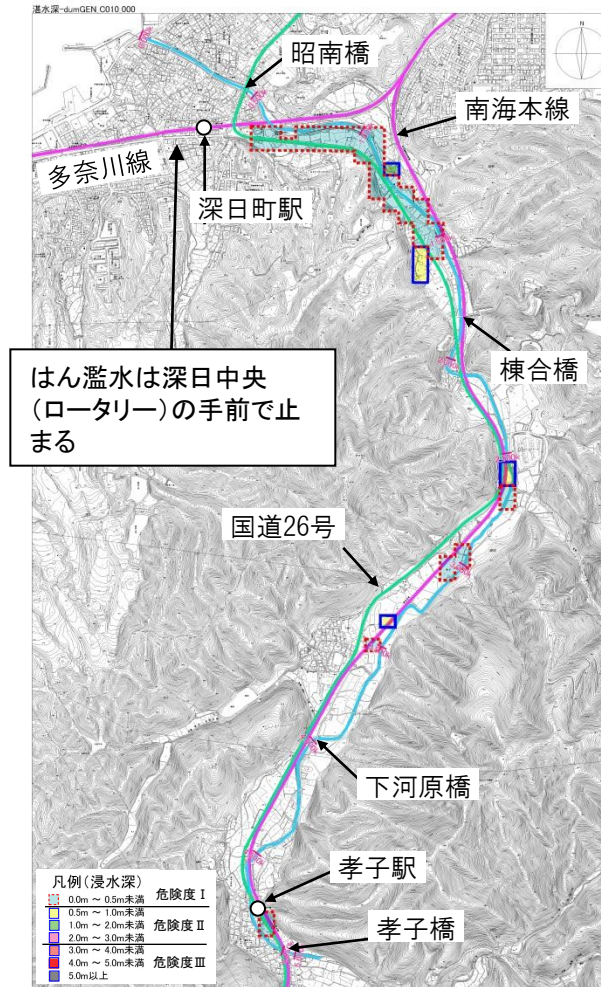
## ②大川の現状について

### 逢帰ダムの治水効果

逢帰ダムは洪水調節機能を持った多目的ダムであり、下流のはん濫を低減することができます。



ダムの効果をカウントしない場合(1/10年確率)



ダムの効果をカウントした場合(1/10年確率)



## ②大川の現状について

### 近年の水害



①平成21年11月豪雨写真  
(南海橋下流付近)



②平成22年7月豪雨写真  
(南海橋下流付近)



④平成7年豪雨被災写真  
(中山橋上流)



③平成7年豪雨被災写真  
(南海橋上流)



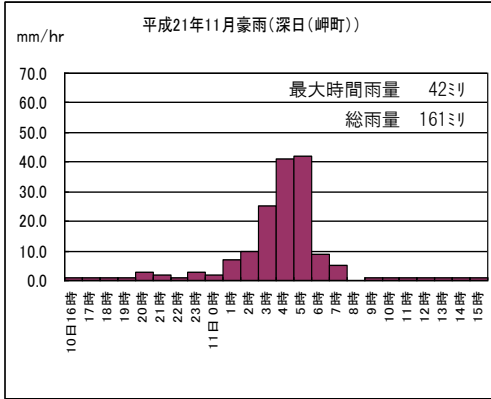
⑤平成7年豪雨被災写真  
(柳池川合流点下流)



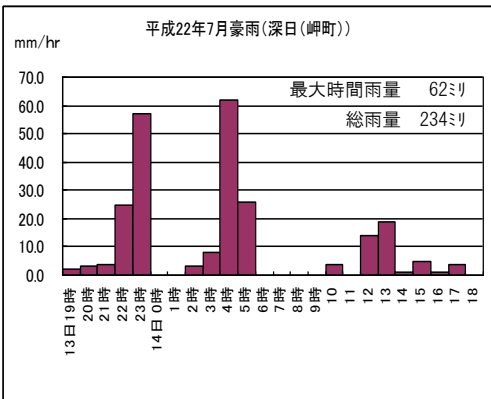


# ②大川の現状について

## 平成21年11月豪雨



## 平成22年7月豪雨





## ②大川の現状について

これまでの治水事業

洪水対策

- ・昭和43年に農地防災を目的とした逢帰ダム(多目的ダム)が完成(府環境農林水産部)
- ・昭和59年より、河川改修事業に着手
- ・現在、昭南橋～南海橋下流まで完成



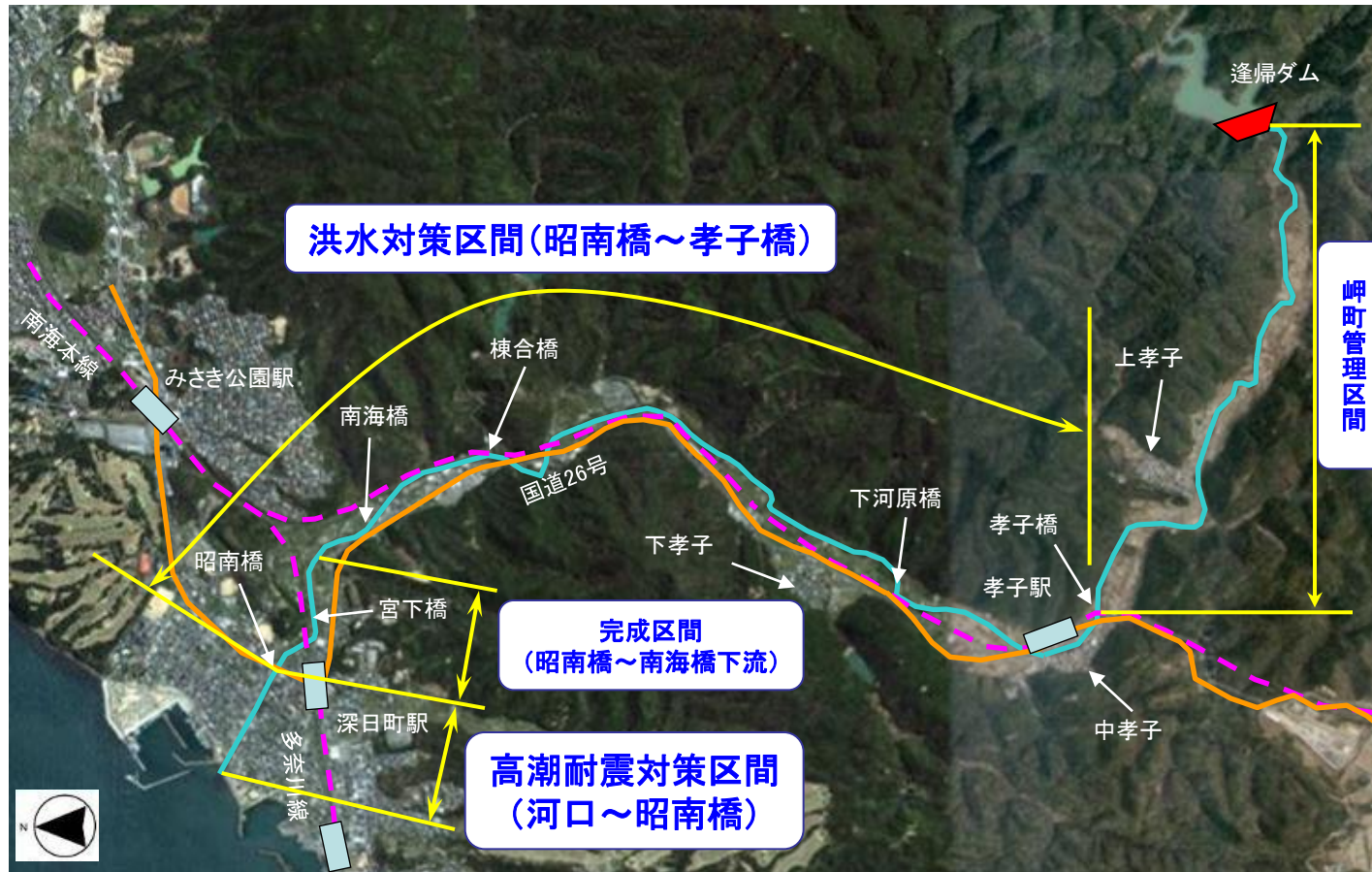
逢帰ダム



未改修区間(下孝子地区)



完成区間(宮下橋上流)

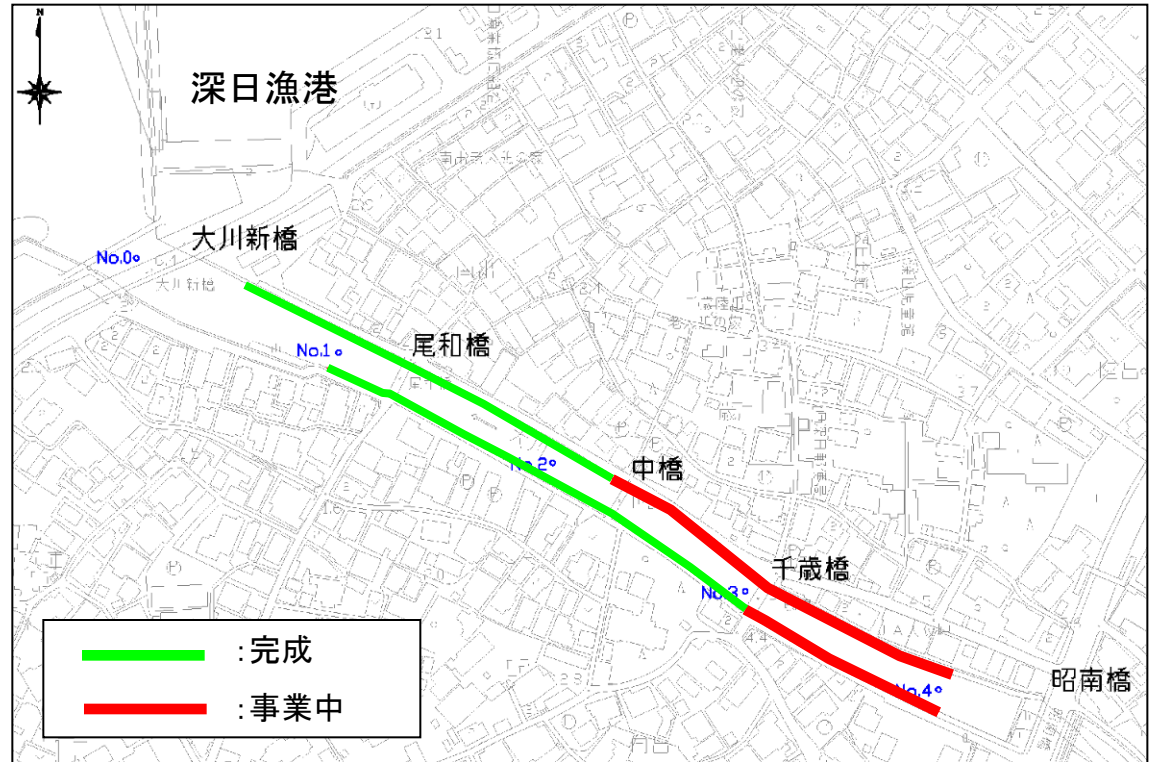


## ②大川の現状について

これまでの治水事業

高潮耐震対策

- ・河口～昭南橋下流の高潮区間
- ・現在、河口～中橋下流まで完成  
(左岸は千歳橋下流まで完成)
- ・引き続き事業中



高潮耐震  
対策区間  
(尾和橋)



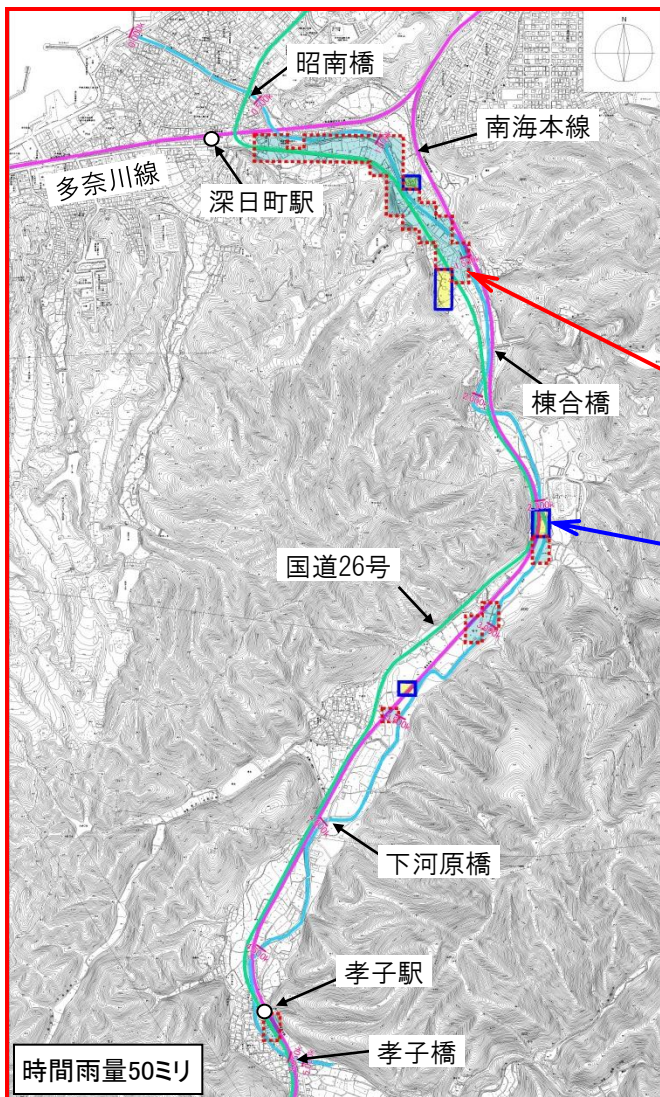
高潮耐震対策区間(尾和橋上流) 左:整備前(H17) 右:整備後(現在)



## ②大川の現状について

### 大川の洪水はん濫、浸水の危険性

現状の大川において時間雨量50ミリ、65ミリの雨が降った場合をシミュレーションしました。

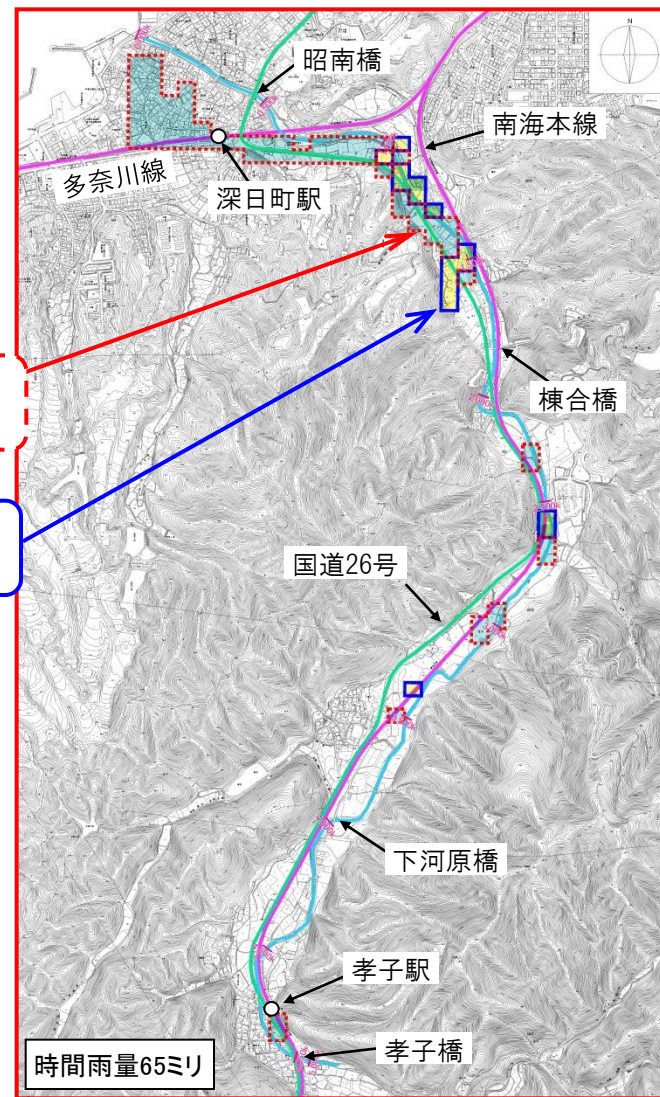


未整備区間よりあふれた洪水により  
床下浸水が発生する範囲

床上浸水（危険度Ⅱ）が発生する  
範囲

#### 凡例（浸水深）

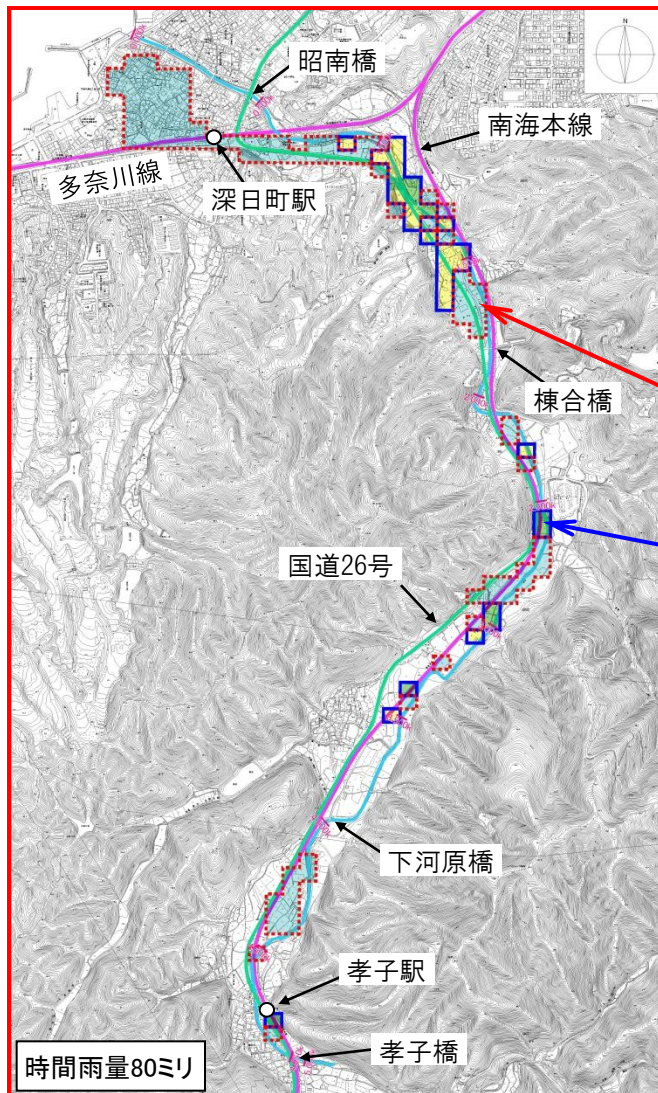
0.0m ~ 0.5m未満	危険度Ⅰ
0.5m ~ 1.0m未満	
1.0m ~ 2.0m未満	危険度Ⅱ
2.0m ~ 3.0m未満	
3.0m ~ 4.0m未満	
4.0m ~ 5.0m未満	危険度Ⅲ
5.0m以上	





## ②大川の現状について

現状の大川において時間雨量80ミリ、90ミリの雨が降った場合をシミュレーションしました。

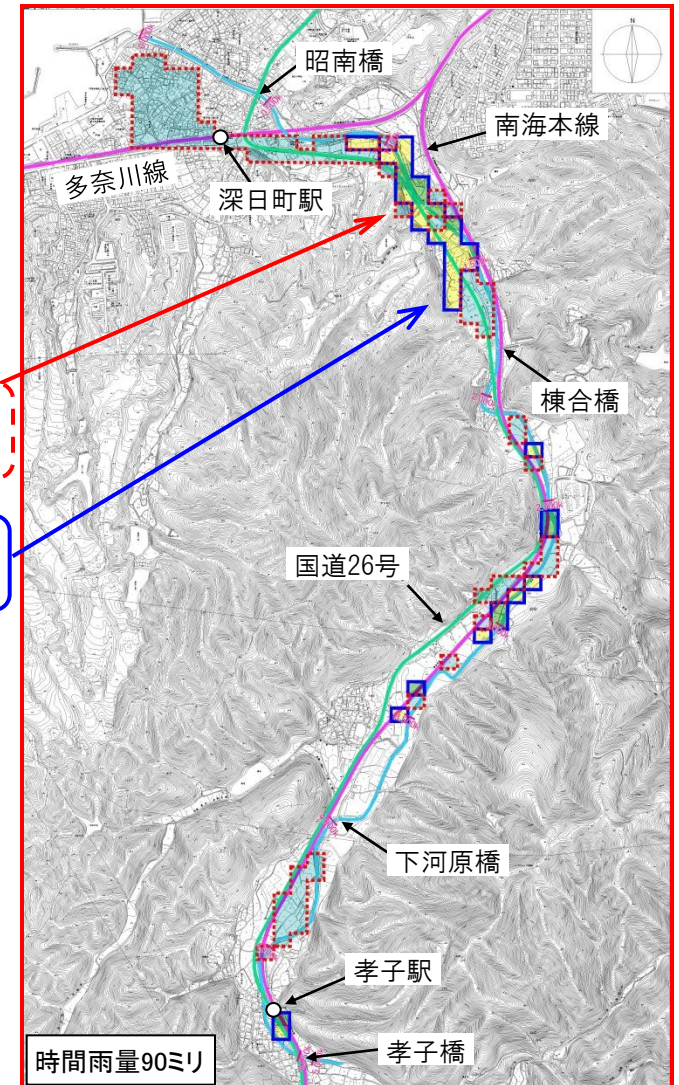


未整備区間よりあふれた洪水により  
床下浸水が発生する範囲

床上浸水（危険度Ⅱ）が発生する  
範囲

### 凡例（浸水深）

0.0m ~ 0.5m未満	危険度Ⅰ
0.5m ~ 1.0m未満	
1.0m ~ 2.0m未満	危険度Ⅱ
2.0m ~ 3.0m未満	
3.0m ~ 4.0m未満	危険度Ⅲ
4.0m ~ 5.0m未満	
5.0m以上	





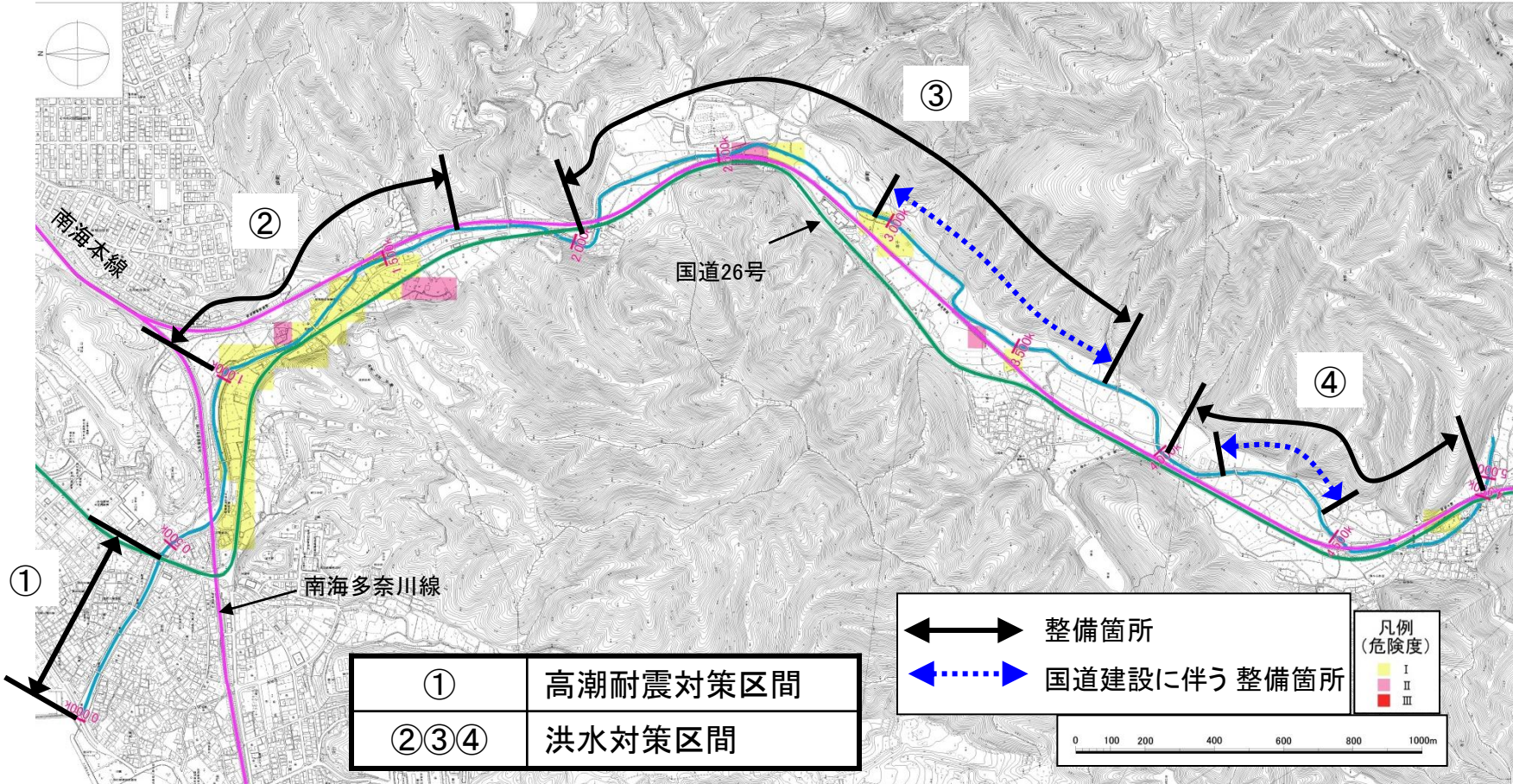
# ③これからの大川での取り組みについて

## 当面の治水目標

洪水対策については、河川整備と既存の逢帰ダムにより、時間雨量50ミリ程度の降雨を十分に安全に流下させることとします(②、③、④)。高潮対策については、伊勢湾台風級の台風が大阪湾に室戸台風(昭和9年)と同じ経路で満潮時に襲来したことを想定した高潮を防御できる高潮堤防の整備を行うとともに、近い将来に発生が懸念されている東南海・南海地震等への対策として、堤防の耐震化も併せて進めます(①)。

## 将来目標(基本方針)

洪水対策については、河川整備と既存の逢帰ダムにより、時間雨量80ミリ程度の降雨を十分に安全に流下させることとします。





### ③これからの大川での取り組みについて

#### 環境整備の目標

- 自然河岸や河畔林の保全
- 周辺との調和した景観への配慮



自然河岸と河畔林(下孝子)



# ③これからの大川での取り組みについて

## 維持管理の目標

治水・利水機能の確保という観点で以下の維持管理を行います

- 河川管理施設の点検と計画的補修
- 堆積土砂の定期的な調査と計画的な撤去
- 被災時の速やかな機能復旧
- 逢帰ダムの適切な運用



河川施設点検(河床の低下)



土砂の堆積



植生の繁茂

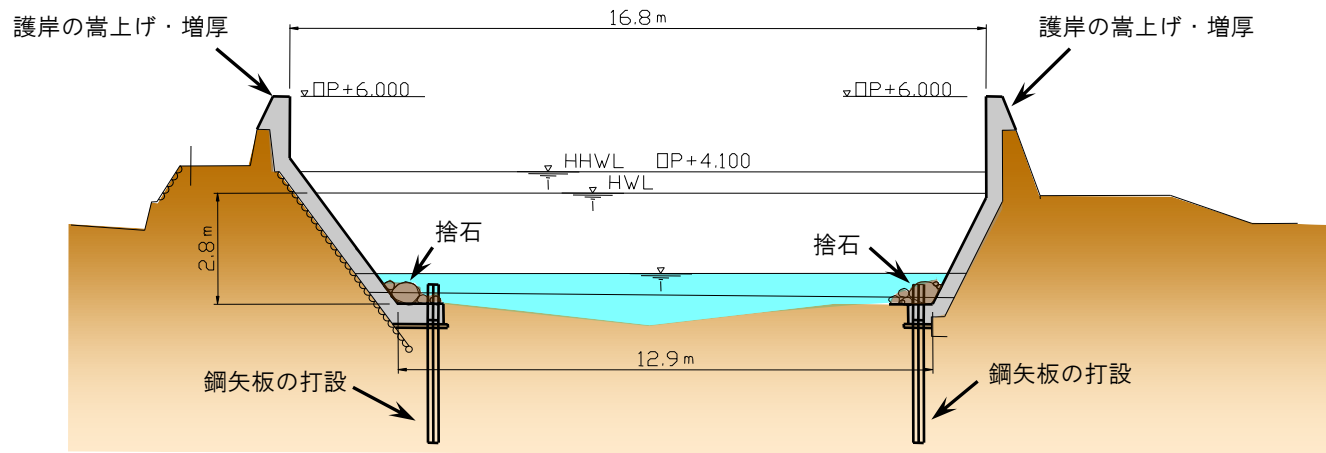


不法耕作

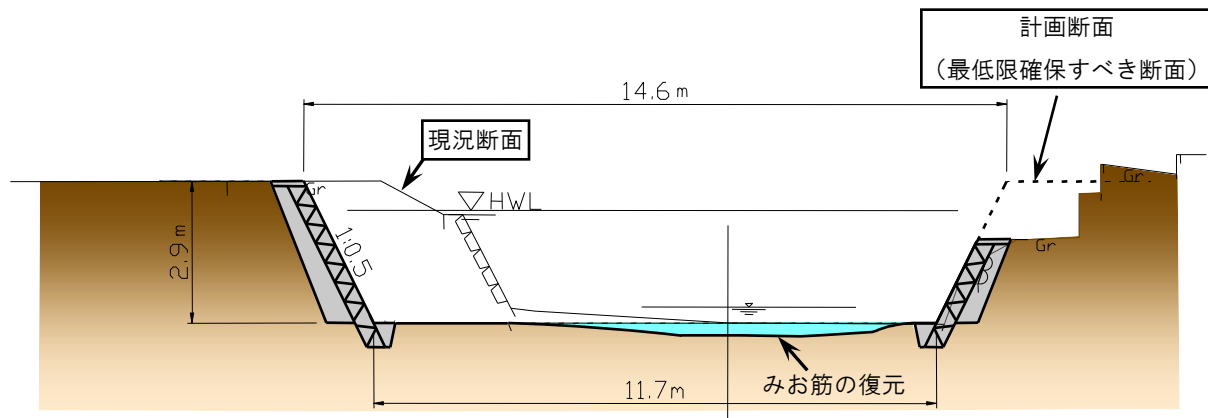
# ③これからの大川での取り組みについて

## 河川整備の内容

### ①河口～昭南橋下流(河口から0.2km付近)



### ②南海橋周辺(河口から1.4km付近)

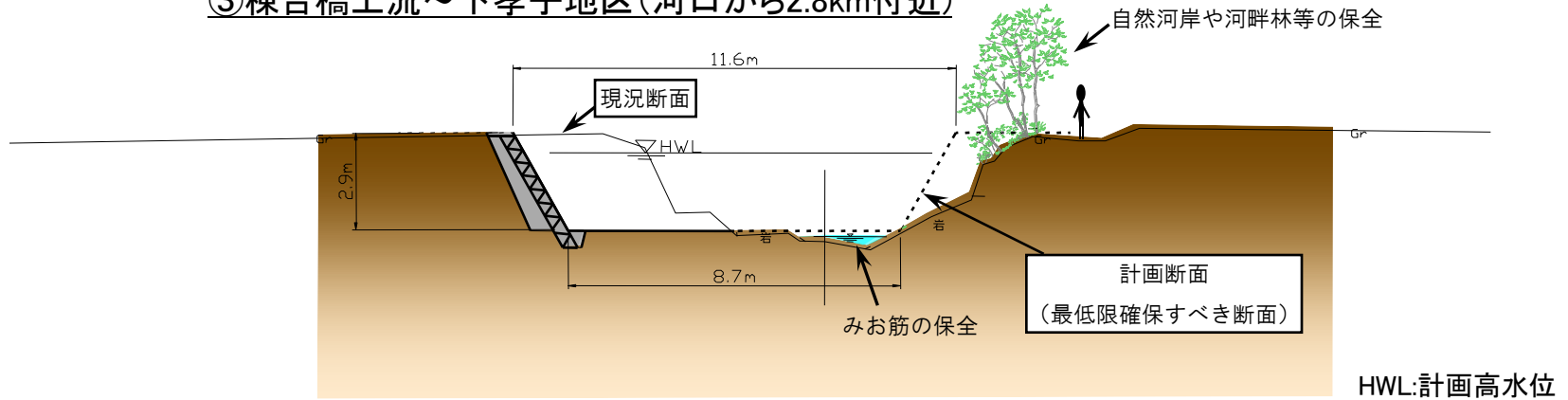


HWL:計画高水位

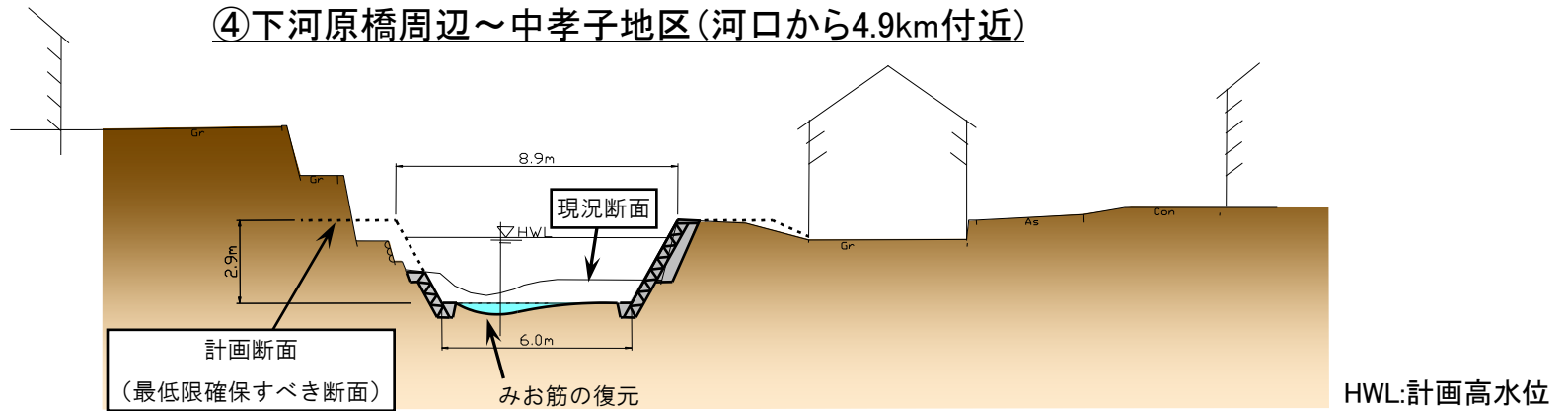


# ③これからの大川での取り組みについて

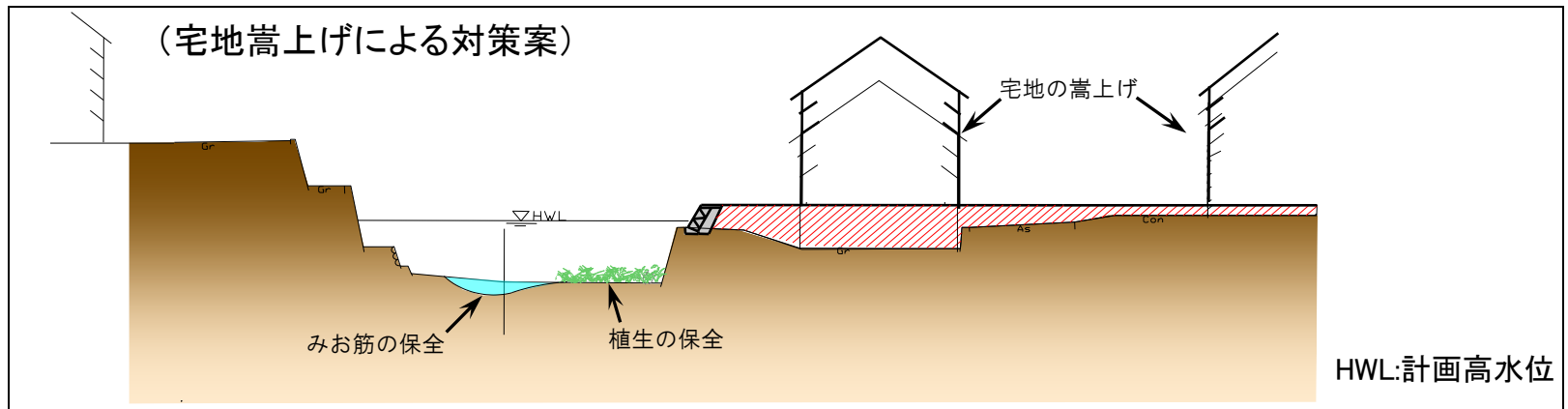
## ③棟合橋上流～下孝子地区(河口から2.8km付近)



## ④下河原橋周辺～中孝子地区(河口から4.9km付近)



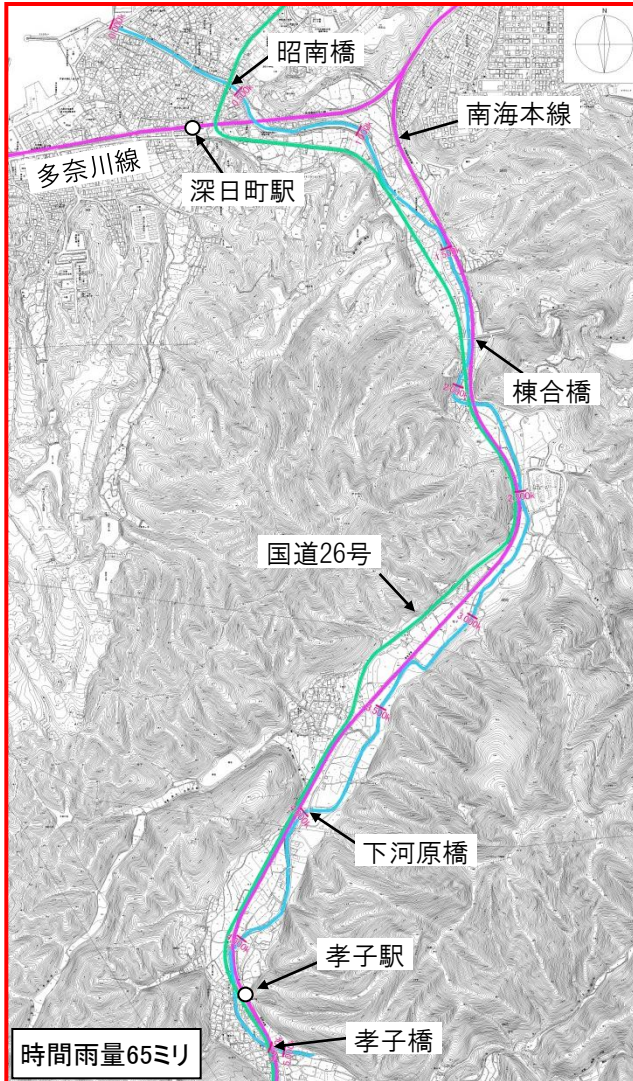
### (宅地嵩上げによる対策案)



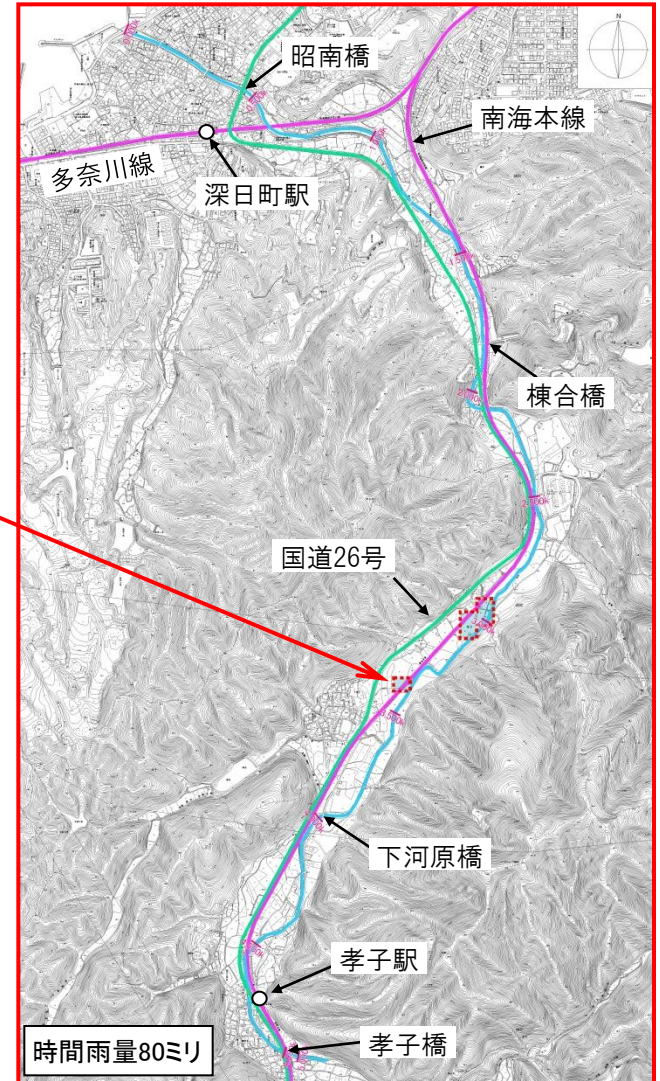
# ③これからの大川での取り組みについて

当面の治水目標(時間雨量50ミリ)の整備後の大川において、時間雨量65ミリ、80ミリの雨が降った場合をシミュレーションしました。

河川からのはん濫・溢水が解消



河川からのはん濫・溢水が発生



床下浸水が発生する範囲

## 凡例(浸水深)

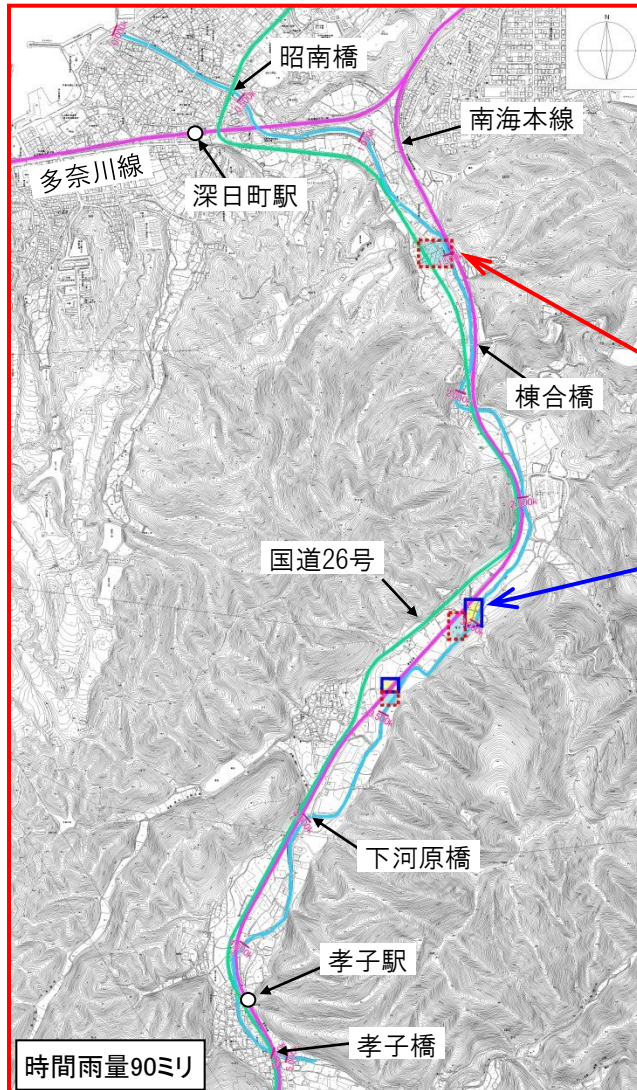
0.0m ~ 0.5m未満	危険度 I
0.5m ~ 1.0m未満	
1.0m ~ 2.0m未満	危険度 II
2.0m ~ 3.0m未満	
3.0m ~ 4.0m未満	危険度 III
4.0m ~ 5.0m未満	
5.0m以上	



### ③これからの大川での取り組みについて

当面の治水目標(時間雨量50ミリ)の整備後の大川において時間雨量90ミリの雨が降った場合をシミュレーションしました。

河川からのはん濫・溢水が発生



床下浸水が発生する範囲

家屋がない箇所でも0.5m以上の浸水が発生する範囲

#### 凡例(浸水深)

0.0m ~ 0.5m未満	危険度Ⅰ
0.5m ~ 1.0m未満	
1.0m ~ 2.0m未満	危険度Ⅱ
2.0m ~ 3.0m未満	
3.0m ~ 4.0m未満	
4.0m ~ 5.0m未満	危険度Ⅲ
5.0m以上	

# 皆様のご意見をお寄せください

## 大川水系河川整備計画(原案)の詳しい内容について知りたい方は

(1)大阪府都市整備部河川室のホームページに掲載しています。

(アドレス [http://www.pref.osaka.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/))

(2)以下の場所で資料を備え付けています。

大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)

大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)

大阪府岸和田土木事務所(泉南府民センター2階)

大阪府岸和田土木事務所(尾崎出張所)

岬町役場(都市整備部土木下水道課)

岬の歴史館(岬町立孝子小学校)

閲覧と意見募集期間は、  
3月2日(金)から  
3月16日(金)まで



## ご意見はこちらまで

《郵送・FAXの場合》

〒599-0203

大阪府阪南市黒田52-3

大阪府岸和田土木事務所 尾崎出張所 維持・河川グループ あて

TEL 072-471-0351 FAX 072-471-4000

《電子メールの場合》

メールアドレス [kishiwadadoboku-g21@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:kishiwadadoboku-g21@sbox.pref.osaka.lg.jp)

いただいたご意見を踏まえ  
河川整備計画の対応方針の  
検討を進めてまいります。





# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取り組み

## 洪水はん濫・浸水の危険性の公表

様々な降雨により想定される地先の洪水はん濫や浸水の危険性を理解していただき、住民自らの地域の状況に応じた避難行動により洪水はん濫・浸水による被害の低減を目指します。

- 【具体的取り組み】
- ①住民への現状の洪水はん濫・浸水による危険性の周知。
  - ②住民が的確に判断し行動するために必要な情報の提供・伝達。
  - ③住民自らが行動できる体制づくりと情報伝達や避難の訓練の実施。

## 洪水はん濫・浸水の危険性の周知

現況での洪水はん濫・浸水の危険性に対する地域住民の理解を促進するため、大川では洪水リスク表示図を開示しています。

表示図では、現況の河道で時間雨量50ミリ(1/10年)、65ミリ(1/30年)、80ミリ(1/100年)及び90ミリ(1/200年)降雨時の4パターンのはん濫解析結果を最大浸水深(7段階)と危険度(3段階)の2パターンで表示しています。

### 【開示方法】

大阪府都市整備部河川室のホームページに掲載  
大阪府岸和田土木事務所(泉南府民センター及び尾崎出張所)及び岬町役場にて縦覧

大川では平成23年10月7日から洪水リスク表示図のホームページ掲載・図書縦覧を行っております。

降雨の説明(イメージ)

降雨確率	1/10	1/30	1/100	1/200
降雨規模	概ね50mm/hr	概ね65mm/hr	概ね80mm/hr	概ね90mm/hr
気象予報用語	非常に激しい雨		猛烈な雨	
人の受けるイメージ	滝のように降る(傘は全く役に立たない)		息苦しくなるような圧迫感がある	
災害発生状況	内水氾濫、地下街浸水、土砂災害		大規模な災害の発生	



# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

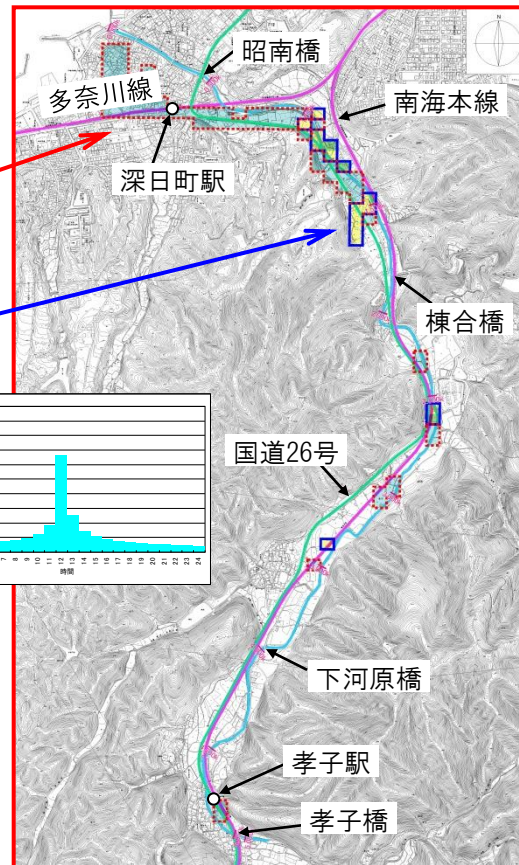
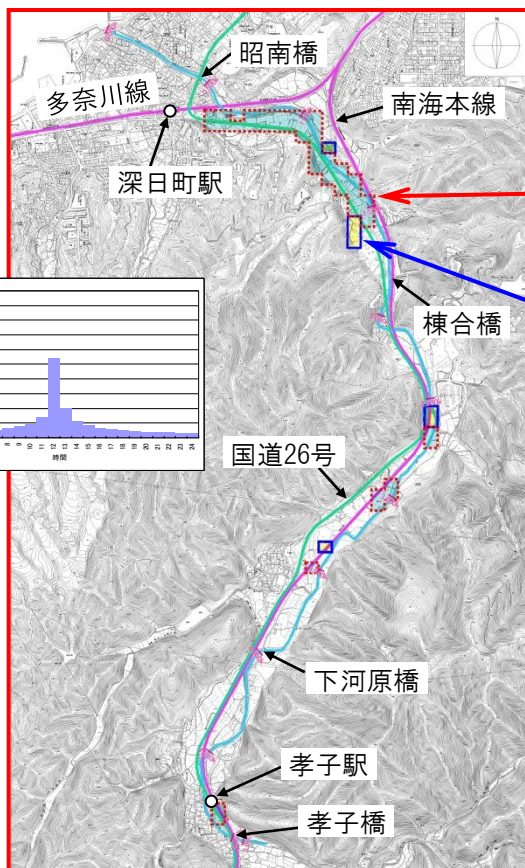
## 現況における洪水はん濫・浸水の危険性

現状の大川において、はん濫シミュレーションを行っています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水

現況 時間雨量50ミリ（10年に1度の確率雨量）

現況 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率雨量）



未整備区間よりあふれた洪水により  
床下浸水が発生する範囲

床上浸水（危険度Ⅱ）が発生

### 凡例（浸水深）

0.0m ~ 0.5m未満	危険度Ⅰ
0.5m ~ 1.0m未満	
1.0m ~ 2.0m未満	危険度Ⅱ
2.0m ~ 3.0m未満	
3.0m ~ 4.0m未満	危険度Ⅲ
4.0m ~ 5.0m未満	
5.0m以上	



# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

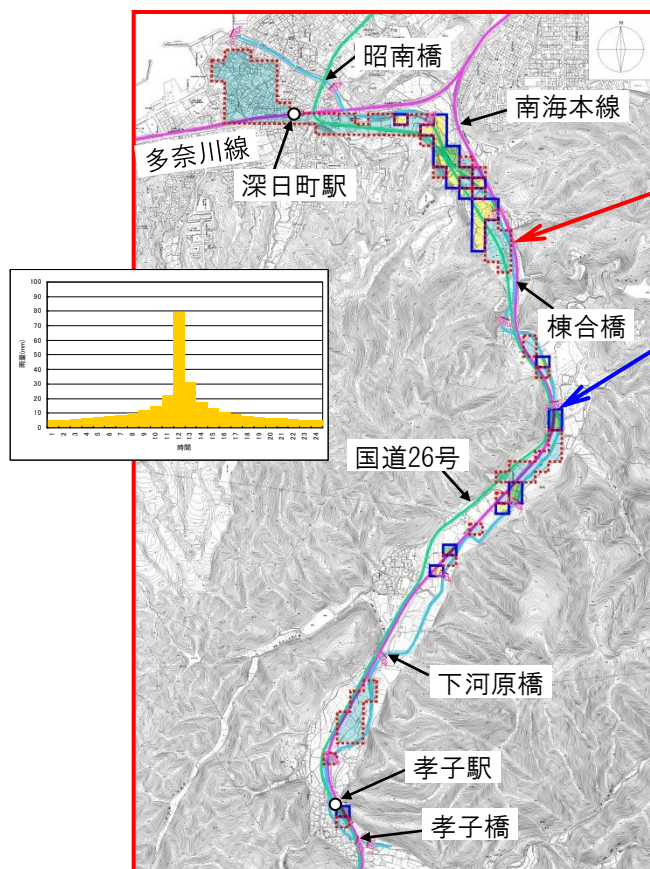
## 現況における洪水はん濫・浸水の危険性

現状の大川において、氾濫シミュレーションを行っています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率雨量）

現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率雨量）

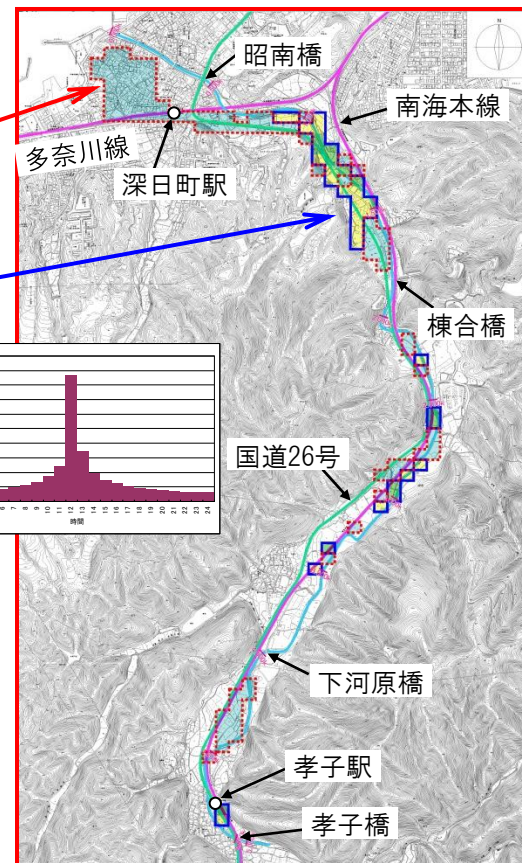


未整備区間よりあふれた洪水により床下浸水が発生する範囲

床上浸水（危険度Ⅱ）が発生

### 凡例（浸水深）

- 0.0m ~ 0.5m未満 危険度Ⅰ
- 0.5m ~ 1.0m未満 危険度Ⅱ
- 1.0m ~ 2.0m未満 危険度Ⅱ
- 2.0m ~ 3.0m未満 危険度Ⅱ
- 3.0m ~ 4.0m未満 危険度Ⅲ
- 4.0m ~ 5.0m未満 危険度Ⅲ
- 5.0m以上



# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 当面の治水目標対策後の洪水はん濫・浸水の危険性

大川における当面の治水目標(時間雨量50ミリ)の整備後におけるはん濫シミュレーション結果です。ただし、はん濫解析には内水浸水を含んでいません。

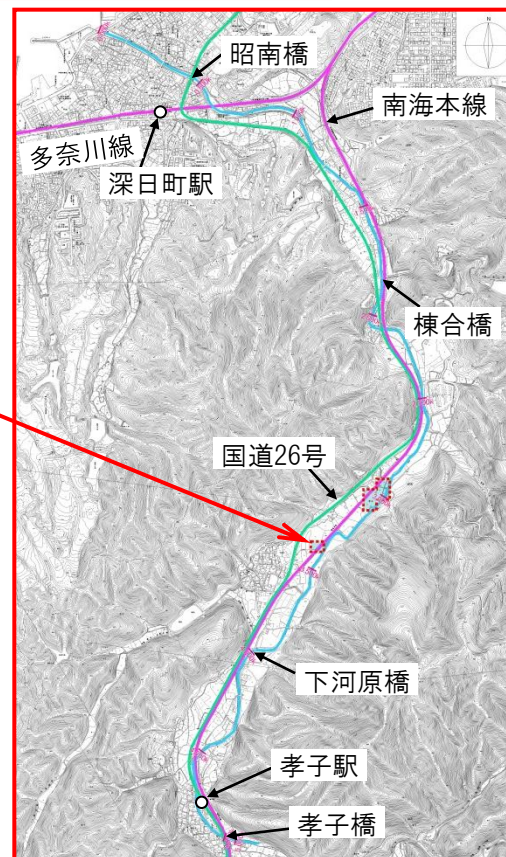
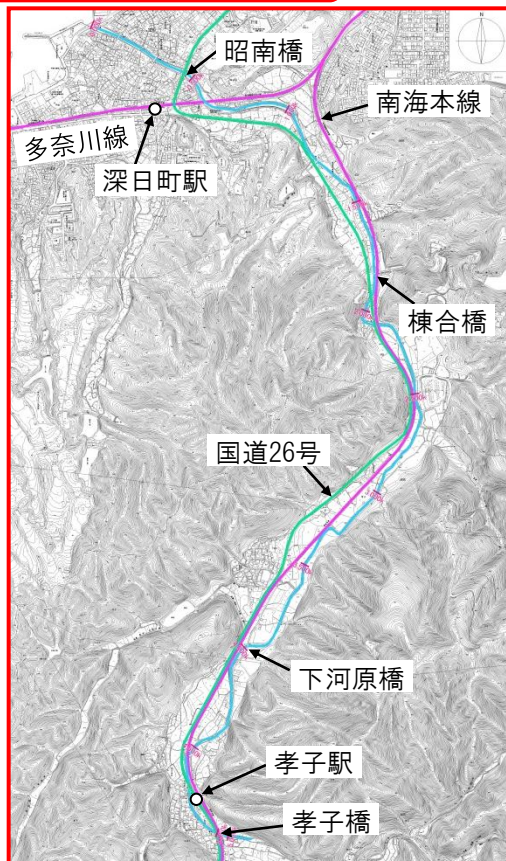
※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水

整備後 時間雨量65ミリ (30年に1度の確率雨量)

整備後 時間雨量80ミリ (100年に1度の確率雨量)

河川からのはん濫・溢水が解消

河川からのはん濫・溢水が発生



床下浸水が発生する範囲

### 凡例(浸水深)

0.0m ~ 0.5m未満	危険度Ⅰ
0.5m ~ 1.0m未満	
1.0m ~ 2.0m未満	危険度Ⅱ
2.0m ~ 3.0m未満	
3.0m ~ 4.0m未満	危険度Ⅲ
4.0m ~ 5.0m未満	
5.0m以上	



# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

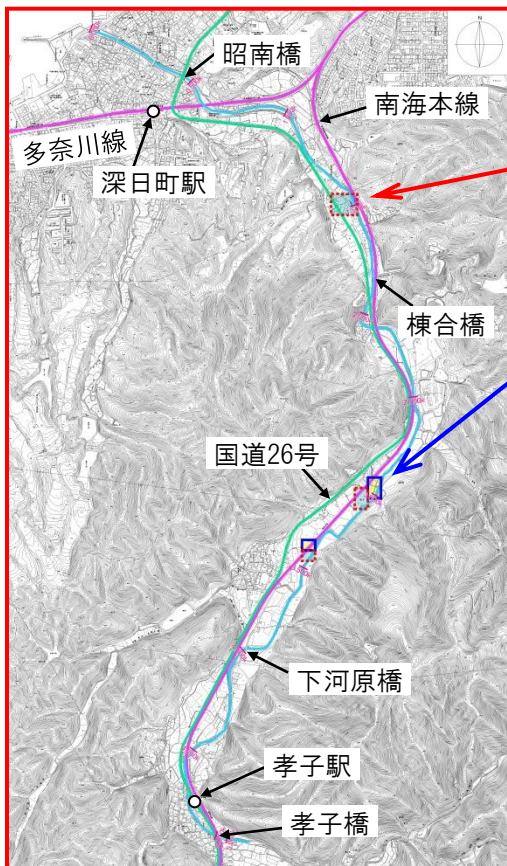
## 当面の治水目標対策後の洪水はん濫・浸水の危険性

大川における当面の治水目標(時間雨量50ミリ)の整備後におけるはん濫シミュレーション結果です。ただし、はん濫解析には内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水

**整備後 時間雨量90ミリ (200年に1度の確率雨量)**

河川からのはん濫・溢水が発生



床下浸水が発生する範囲

家屋がない箇所でも0.5m以上の浸水が発生する範囲

### 凡例(浸水深)

0.0m ~ 0.5m未満	危険度 I
0.5m ~ 1.0m未満	
1.0m ~ 2.0m未満	危険度 II
2.0m ~ 3.0m未満	
3.0m ~ 4.0m未満	
4.0m ~ 5.0m未満	危険度 III
5.0m以上	

当面の治水目標の達成後の大川流域では、時間雨量80ミリ、90ミリの降雨に対しても床上浸水の危険を避けることができます。



# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 大阪府などによる情報提供の取組み

大阪府などでは、河川はん濫や浸水に対して、地元町と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう情報提供していきます。

### 防災情報

#### 【おおさか防災ネット】

<http://www-cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>



緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供していきます。



防災情報を携帯電話で入手できます。下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

### 防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。

[touroku@osaka-bousai.net](mailto:touroku@osaka-bousai.net)



### 川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。

<http://i.river.go.jp/>

直接アクセスしてください。



### 大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。

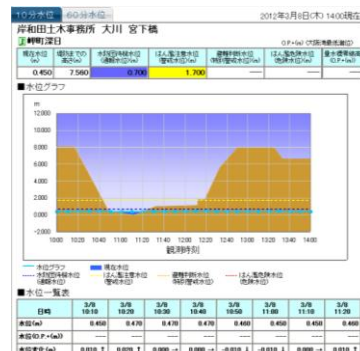
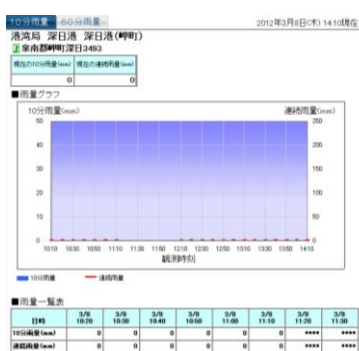
<http://www-cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>

直接アクセスしてください。



#### 【大阪府都市整備部河川室 河川防災情報】

<http://www-cds.osaka-bousai.net/suibou/index.html>



深日港での雨量、宮下橋付近での水位状況を確認できます。



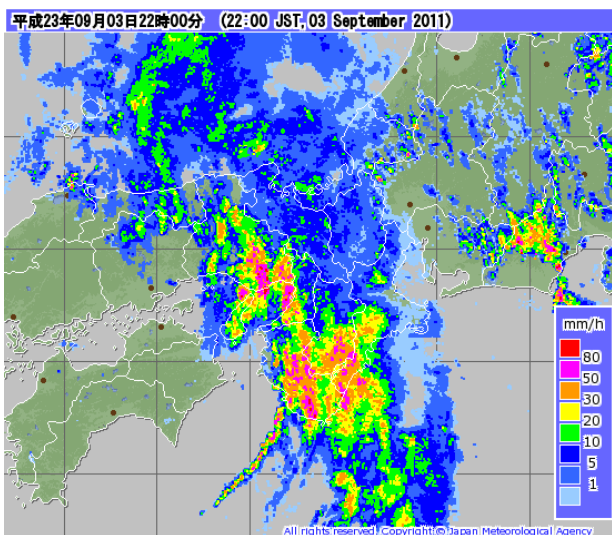
# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 大阪府などによる情報提供の取組み

### 気象情報

#### 【気象庁】

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。  
(出典:気象庁ホームページより)

#### 【国土交通省 防災情報提供センター】

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

<携帯サイト>

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

#### 【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】

<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>

NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。



### 視聴方法

NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す

TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。

「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 岬町の取組み

はん濫解析結果により浸水エリアを抱える岬町では、

・**「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」に基づき、皆さんの避難行動を支援しています。**

※住民に対して避難のきっかけとなる情報(避難準備、避難勧告、避難指示)  
を適時適切に提供するための基準書

	発生時の状況
避難準備情報	・災害の発生する可能性が高まると予想された状況
一時避難情報	・避難行動を開始しなければならない段階であるが、予想される災害が自宅内や近隣のより安全な場所への一時避難で、町民の安全が確保される程度の場合
避難勧告	・避難行動を開始しなければならない段階であり、予想される災害が指定された避難所への立ち退き避難が必要となる程度の場合
避難指示	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、災害が発生する危険性が非常に高いと判断される状況 ・堤防の隣接地、斜面の直下等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・人的被害が発生した状況

### 今後の取組みとして

・洪水リスク表示図等を基に、住民に対する説明会等を順次開催予定です。

・まちかどへの浸水・避難サインボードの設置を検討していきます。

(まるごとまちごとハザードマップ)





## ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

### 個人での取組み

**地域住民の皆様も、洪水はん濫や浸水が起こった場合には、被害が最小限となる取組みを行いましょう！**

#### 気象情報・防災情報への注意

テレビやホームページによる気象情報・防災情報をチェックしましょう！

#### 避難所・避難経路の確認

避難場所や避難経路は実際に歩いて確認しておきましょう！

#### 排水溝の定期的な掃除

浸水被害の原因につながる排水溝のゴミ等を定期的に掃除しましょう！

#### 垂直避難の検討

外への避難と2階以上への避難のどちらがよいかも考えておきましょう！

#### 手作り土のうなどの準備

玄関や道路からの浸水を防ぐため、土のうを用意しましょう！

#### 家電・貴重品等の高所移動

浸水に備えて、家電や貴重品は高所へ移動させましょう！



# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 地域での取組み

大阪府では、岬町と連携し、洪水だけでなく、地震津波や土砂災害時の地域特有の災害リスクも踏まえた町会単位等での地域住民が主体となった避難体制づくりに取組みます。

**STEP 1** 自主防災組織単位、小学校区単位による防災に関する勉強会の開催

**STEP 2** 自治会組織単位での防災に関する勉強会の開催

**STEP 3** 地域でのワークショップなどの開催

避難行動の検討  
(防災マップ等の作成)



《ワークショップの開催》

住民自らの手で、避難時に必要となる情報の図面への書き込み等の活動

まちあるきの実施



作成したわかりやすい防災マップをもとに避難経路を実際に歩くことにより危険箇所を確認

防災訓練の実施



作成したわかりやすい防災マップを使った避難等の防災訓練の実施